

# 「あたりまえ防災」で 災害に強いまちづくり



千葉県立東金特別支援学校  
安全・防災教育主任 押塚 雄史

## 1 はじめに

本校は、知的障害を対象とした千葉県初の県立養護学校として昭和48年4月に開校し、創立45周年を迎えました。

県内知的障害特別支援学校では唯一の寄宿舎設置校であり、学区は2市2町（東金市、山武市、芝山町、横芝光町）となっています。学校は平野部にありますが、学区では、津波・土砂災害・液状化・水害・竜巻等の心配もあります。平成30年度の児童生徒数は、小学部41名、中学部27名、高等部83名、合計151名（9月1日現在）です。知的障害（自閉症を含む）を中心に、肢体不自由、聴覚障害など他の障害を併せ持つ児童生徒の、多様な教育的ニーズをふまえて「自立をめざして 輝く瞳 光る汗」を合い言葉に、子どもたちの教育に全力を尽くしています。

## 2 防災教育をはじめたきっかけ

本校は、平成23年度に内閣府「防災チャレンジプラン」の指定を受けて以来、防災教育を教育課程に位置付け、地域防災活動にも積極的に関わっています。東日本大震災から1か月後からのスタートということもあり、命を守ることの大切さや地域と共に活動することの必要性などについて高い意識の下活動を始めました。特に、地域との交流やネットワーク作りに力を入れ、その後も様々な防災活動を通じて、地域防災力の向上に貢献を続けています。

## 3 「あたりまえ防災」とは

防災チャレンジプランの2年目、平成24年夏に当時の生徒会生徒が岩手・宮城の特別支援学校を中心に東日本大震災の被災地訪問をしたことです。「何か私達にできることはありませんか？」と尋ねたところこんな答えが返ってき

ました。

「災害について考えること、防災活動をすることが『あたりまえ』になるようにしてください」「この考え方を広めて、自分の命を守れるようにしてください」

この言葉をきっかけにして本校の「あたりまえ防災」がスタートしました。

被災地訪問から戻った生徒会生徒達を中心に、命の大切さ、災害時の心得などを盛り込んだ「あたりまえ防災」の歌詞と振り付けを児童生徒の手で作成しました。当時流行していたCOWCOWさんの許可を得て「あたりまえ体操」のリズムに乗せて全校集会などで踊るようにしました。全国の防災コンクールなどで発表する機会もあったことから、多くの学校から反響があり「あたりまえ防災」は広がっていくことになりました。

児童生徒達は防災活動を続けることで、「自分達のやっていることを多くの人に知ってもらいたい」「自分達も地域の為にできることをしたい」という想いを持つようになっていきます。



あたりまえ防災の踊り

## 4 児童生徒有志による 「あたりまえ防災隊」

長年にわたる防災教育が児童生徒にも浸透し始めたことから、児童生徒の有志による「あたりまえ防災隊」が発足しました。あたりまえ防

災隊の活動は、校内の活動だけでなく、地域の方と一緒に防災活動をする機会を作り、本校の防災活動や防災についての考え方を広める役割も担っています。

平成28年より「東金市こどものまちづくり活動（現：東金市青少年まちづくり活動）」の採択を受けて『あたりまえ防災』で災害に強いまちづくりをテーマに活動し、防災ウォークラリーによる地域住民と一体となった防災活動を実施したり、振り付けつきの防災ソング「あたりまえ防災Ⅱ」を市内の学校や社会教育施設等に配布したりしました。



あたりまえ防災隊

〈あたりまえ防災隊の主な活動〉

- ①校内の避難訓練時、避難時のルールや頭を守ることの大切さを伝えるコーナーを担当
- ②地域の合同避難訓練への参加
- ③「あたりまえ防災Ⅱ」の啓発活動
- ④市の事業「東金市青少年まちづくり活動」と連携して、児童生徒主体で啓発DVDの配布や、ステージ発表などを通じた防災まちづくりを展開
- ⑤「あたりまえ防災隊」の活動として動画投稿サイト「YouTube」に防災教育動画を投稿し、広く防災意識の向上を図る
- ⑥「あたりまえ防災隊」を中心に、7月に防災ウォークラリーを企画し、地域の大学・高校・子ども会・行政・医療機関と連携した防災活動を実施し、地域の防災力向上、連携作り

## 5 地域と共に

児童生徒達が主体的に防災を通じてまちづくりに参加し、地域の防災意識を高めようとする

姿は、多くの地域の方の目に触れることとなり、そこで多くの協力してもらえる機関と知り合うことにもなりました。市の消防防災課、医療機関、保健士・地域のボランティア部会、子ども会、高校、大学などです。

その協力機関と一緒にいるのが「防災ウォークラリー」です。防災ウォークラリーは、本校敷地内で行い、様々なブースを回りながら災害時に必要な知識や技能を身に付けられるよう工夫されています。運営をあたりまえ防災隊と協力機関で行い、地域の方などの来校者に向けて行います。毎年200人を超える来校者があり、地域と一緒に災害について考える機会となっています。もちろん参加者みんなで「あたりまえ防災」を踊ります。

### ○防災ウォークラリーの内容

避難所設置訓練、新聞紙スリッパ作り、段ボールベッド体験、VR津波体験、AED操作体験、救急法体験、起震車体験、テント設置、非常食試食体験、防災シアター（防災劇）など



段ボールベッド体験

## 6 まとめ

今後も、より一層地域と連携を深め、みんなで「あたりまえ防災」を推進し、大切な命を守ってほしいと思います。児童生徒達には、地域の防災リーダーとして活躍し、「東金市を日本で一番安全な街にする」という想いをこれからももち続けてほしいです。